

大豆生産者様へ 10ha規模での年間費用対効果

リアルタイム予察がもたらす「+55.7万円」の利益創出

防除コスト削減効果

+15.9 万円 / 年

無駄な農薬散布・労力をカット

- ・ピンポイントで害虫の発生ピークを把握
- ・最適なタイミングでの防除判断が可能
- ・不要な農薬代と散布作業の人的コストを削減

販売収入・交付金増

+39.8 万円 / 年

被害抑制で大豆収量10%UP

- ・深刻な葉の食害を防止
- ・収量増により販売収入の増加
- ・交付金の数量払分も増額

年間トータル経済効果

+55.7 万円 / 10ha

導入費用を大きく上回るリターン。
勘に頼らない「データ駆動型」の防除が、大豆経営の収益力を力強く押し上げます。

+

=

※試算条件：大豆作付面積10ha想定。コスト削減効果は防除作業を1回省略した場合のプレオフロアブル（単価：500ml/4840円税込）削減および人件費（10aあたり0.09時間、時給1500円）削減による。収入・交付金増は基準収量121kg/10aが10%増収すると想定し、販売価格9409円/60kg、経営安定所得対策 畑作物の直接支払交付金（数量払）10340円/60kgを使用して試算。



日本農業支援サービス
jagriss.com